

- 取材のご案内 -

「Art Hack Day 2018」

人工生命をテーマにしたハッカソンを2月3日(土)より開催

にっぽんか がくみらいかん

日本科学未来館(略称: 未来館、館長: 毛利衛)は Art Hack Day 2018 実行委員会との共同主催で、2月3日(土)、4日(日)、3月10日(土)、11日(日)に、アートに特化したハッカソン「Art Hack Day 2018」を開催いたします。

ハッカソンとは、エンジニアなどが集い、数時間から数日間の短い期間で集中的に開発を行い、成果を競い合うイベントです。新たなサービスや製品を創りだせる場として、近年、国内外問わず広く開催されています。



今回日本科学未来館で開催するハッカソンでは、研究者やアーティストも加わることで、芸術と科学技術が融合した新たな作品を制作します。審査で選ばれた優秀な作品は、常設展示「メディアラボ」にて、数ヶ月間の展示を予定しています。

「Art Hack Day」はこれまでに4回開催され、計49チームが作品を発表。制作された作品は、ミラノ国際万博や六本木アートナイトなど数多くのアートイベントやギャラリーに出展されています。今回のテーマは、生命の成り立ちや仕組みなど生命の根源を探求する研究分野「人工生命(Artificial Life = ALife)」です。「BEING THERE(現れる存在)」と題し、人工物が動きや進化を伴うことで出現する生命らしさ、そこに存在するだけで人へ安らぎや刺激を与えるテクノロジーなど、生命や非生命の本質への理解を促進させる新たな表現を目指します。

審査員として、常設展示「アンドロイド—人間って、なんだ?」内「オルタ」開発メンバーの一人で人工生命に関する研究を行う、東京大学大学院 総合文化研究科教授 池上高志氏や、アーティストのデビッド・オライリー氏などが参加。2月3日(土)、4日(日)にチーム分けとコンセプト検討を行い、約1ヶ月後の3月10日(土)、11日(日)に制作、11日にはプレゼン、審査、結果発表を行います。その後、制作された全作品は3月16日(金)~18日(日)に日本科学未来館・特設会場にて展示を行います。

ぜひ、貴媒体でご取材、お取り上げ頂けますよう、お願い申し上げます。

■ 概要 ■

タイトル Art Hack Day 2018
開催日程 2月3日(土)、4日(日)、3月10日(土)、11日(日)
作品展示 3月16日(金)~18日(日)
開催場所 日本科学未来館
主催 Art Hack Day 2018 実行委員会、日本科学未来館
共催 ALife Lab.
助成 アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)

※ハッカソンへの参加者を募集しています。

申込の締め切り : 1月20日(土)19:00

申込と詳細 : <http://arthackday.jp/>

一般からのお問い合わせ先	本イベント・取材に関するお問い合わせ先
日本科学未来館 〒135-0064 東京都江東区青海2-3-6 TEL:03-3570-9151 / FAX:03-3570-9150 URL: http://www.miraikanjst.go.jp/	ヴォロシティ株式会社 (Art Hack Day 2018実行委員会 事務局) Mail: arthackday@volocitee.com
	日本科学未来館に関するお問い合わせ先 日本科学未来館 事業部 展示企画開発課 広報普及担当 TEL:03-3570-9192 / FAX:03-3570-9150 Mail: press@miraikanjst.go.jp